

## 第26期日本学術会議政治学委員会第2回委員会・会議記録

日時：2023年10月21日16時40分～17時40分

場所：日本学術会議5-B会議室

出席者：鈴木基史（委員長）、谷口尚子（副委員長）、城山英明（幹事）、早川誠（幹事）

配布資料：なし

### 議事

#### （1）日本の政治学の国際化について

来年度7月にソウルで開催される世界政治学会(IPSA: International Political Science Association)研究大会（2025年7月12日～16日）に政治学委員会としてパネルを応募することが決定された。その後、応募方式やテーマ、パネリストなどについて議論がおこなわれ、パネリスト候補者への打診など今後の手続きについて確認された。

#### （2）今後の活動について

主権者教育に関するシンポジウムについて、2025年3月に開催する方向で進めていくことが決定された。政治学委員会主催とし、開催方式はオンラインで、分科会からも協力を求め、自治体で教育実務を担う方などの参加も想定したものとする。今後の実施に向けて、報告者や日程など細部を詰めていくことが確認された。

また、鈴木委員長から、12月14日土曜日午後1時から3時まで、同志社大学で「データサイエンスで政策の質を向上させる」と題したサイエンスカフェが実施されることが報告された。すでに学術会議のホームページに情報を掲出し、谷口副委員長もカフェ講師として参加する。

#### （3）その他

特になし。なお、2025年度4月総会時に、必要に応じて政治学委員会を開催する予定である。

以上